全国安全週間を迎えて

各職場でのゼロ災害の達成を

名古屋北労働基準監督署長　田　中　哲　夫

平成26年度の全国安全週間が、

「みんなでつなぎ高まる意識　達成しようゼロ災害」

のスローガンのもと、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。

毎年、安全週間の時期になりますと、駅や事業場・工事現場において工夫をこらしたポスターや「安全第一」の標語が掲げられ、安全週間の季節の到来を実感します。

夏の空はためく安全衛生旗　　徹尾

下手ながら思いついたままの俳句を紹介させていただきます。

安全週間にふさわしいのは、やはり、7月だと思います。安全旗または安全衛生旗が翻る夏の空は気持ちがいいものです。この安全旗等に象徴される安全への願いをこめ、気持ちも新たに安全への取り組みを強化していただきたいと思います。

各事業場の皆様は、既に6月の準備期間中から、安全パトロール、安全大会、標語の募集ほか種々の取り組みを行っていただいていることと存じますが、この本週間中には、その総括としてさらに積極的な安全管理活動を実施いただくようお願いします。

ご承知のとおり、全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、今年で87回目となります。労働災害防止は、「人命尊重」という基本理念のもと行うものであって、国全体で考えるべきものだと思います。また、働く人々に安全で健康的な職場を提供することは、企業の発展にもつながるものだと確信をしています。

さて、景況は先行指標が上昇し、消費税率改定による停滞を乗り越えようとしているという報道があります。これを機に事業場の安全管理水準がさらに上がるよう、設備面、人材面、管理面等での対策を充実させていただきたいと思います。

この全国安全週間においては、経営トップが安全に対する姿勢を決意として示し、一人ひとりが基本的なルールを守り、みんなで労働災害防止に取り組み、各職場でのゼロ災害を達成していただきますようお願いします。

本年度は第12次労働災害防止推進計画2年目の年です。愛知労働局では、平成29年度において死亡災害40人未満、死傷者数対24年度比15％減少を目標に、単年度ごとでも確実に労働災害の減少を目指してまいりますが、平成25年は平成24年に比べて2・2％の増加となり、残念な結果となりました。

当署においては、第12次労働災害防止計画を受けて、本年の死傷者数については平成24年と比べて6％減少するという目標を立てております。引き続き労働災害防止を最重点とした行政を推進することとしておりますので、皆様も全国安全週間を機に、今後も労働災害を発生させないよう安全管理活動を徹底していただきますようお願いします。